

dependence

いざない

私を帰らせる彼に

ちよつと待つて

駅から少し離れた喫煙所

くらい埃に真新しい一本

慣れてるように見せる口に

氣遣われる私

先に燃えつきる彼は

躊躇いなく落としていく

私の煙草はまだ終わらない

ちよつと待つて

いつものキスが

初めて同じ味になる

窓から吹き抜けるにおいが

体中を回る

会える保証もない帰りに一言

一九六番

灰皿に溜まる彼への愛が

今日もまた増えていく

廃れていくタバコのようなきみが

まだ好きだった